

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

## 新しい年を迎え

会長 平林 久

2015年となりました。新年おめでとございます。

2014年はいろいろなことがありました。国内でも、国際的にも、悪いことが多かった1年でした。世界では今までもよりも複雑な状況がアラブ地域やクリミアなどで発生し、アジア地域での国際緊張も憂慮の種です。女性の地位、子どもたちのおかれる状況も、地域によって酷いものがあります。1月に入っても早くもフランスでの襲撃事件が発生しました。国内では東日本災害からのさらなる復興、そして原発問題、国際関係、憲法や小選挙区制などなどの重い問題を抱えています。

2015年は世界にとって、日本にとって、皆さんにとって少しでも良い方向にむかって欲しいと思います。このような中で、残り少ない時間をなんとか、よりよい世のためになりたいものです。年が変わって、一人人として心機一転、新たにがんばろうと考えることはいいことですね。

今年も年男ですが、自分の小さな身の回りのこととして、目標というほどではありませんが新年から始めていることがあります。

独習で始めたピアノは7年にもなるのにバイエル教本の半ばでストップしていました。未だに先生につくという勇気がありませんが、まずは再開と継続です。近くのホールでベヒシュタインというピアノを弾ける機会があつて、恥ずかしいほど簡単な曲を弾いてみました。素晴らしいピアノが祝福してくれたように感じました。

4年前の上海で習い始めた太極拳と太極剣は、最近はまだたく遠ざかっています。朝の公園で中国語が話せないままに黄さんに教えていただいて、別れたままです。順序もわすれてしまったほどなので、再開して太極拳サークルに入会しました。

始めて35年になる剣道は、昨年45回しか稽古でできませんでした。今年は100回以上の稽古が目標で、すでに元旦稽古から始めてペー



▲狭山市「宇宙の学校」発表会模様

範士八段の大塚敬彦先生には鏡開きの日に「継続と努力」という鏡開きの言葉を頂きました。剣道の世界にはまた、「交剣知愛」といういい言葉があります。

世の中の大きな出来事に対して小さな個人が仲良くふるまえると、世の中がうまく成り立っていくのだと聞きました。

こう言われるとほっとして、私たちは親和力をもつ水の分子のようだと感じます。

「子ども・宇宙・未来の会」でも、良い1年になるよう、ともに元気でがんばりましょう。

### ◆KU-MA 活動レポート ＜12月～2015年1月＞

#### 【宇宙の学校】

岡山県、吉備中央町、奈良、関町北、多摩、島根など12会場でスクーリングが開催されました。うち4校では閉校式が行われました。

#### 【CSR 支援事業】

12/16 MHI 三原製作所 理科授業実施など

### ◆活動予定＜2月～3月＞

#### 【宇宙の学校】

千葉（まつど・ちば）、小松市、伊豆合同（長泉、函南、三島）、伊那市、出水市など19校のスクーリング（閉校式）を予定しています。

詳しくは、KU-MAのHP (<http://www.ku-ma.or.jp/>) をご覧ください。

#### 【CSR 支援事業】

2/3.4 MHI 広島製作所、2/11 CKD 株式会社 モノづくり教室

2/17MHI 本社 理科授業、3/27MHI 相模原

【イベント事業】3/7レガスサイエンスフェスタ2015 出展



# うちの「宇宙の学校」



## KU-MAへの関わりと 知立市「宇宙の学校」

知立市「宇宙の学校」事務局  
蛭川公一

民間企業の技術系にて30余年。定年近くの2006年初、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のプロジェクトに千載一遇のチャンスを得て参加することができました。同じ技術分野といえども全てが新鮮で初めての経験であり、その2年間があっという間に過ぎました。プロジェクトの使命を達成して、2008年4月出身企業に戻る頃は定年後の生活を思い描く時期でもありました。

ちょうどその頃、的川先生ご提唱の「子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)」が創立され、「宇宙の学校」が全国に向けて展開を始めている時でもありました。私の心のなかでは「宇宙の学校」の魅力・興味から、退職後のボランティア活動として関わってみたい思いと同時に、開校に向けたハードルの高さや具体的な活動が思い描けないという大きな不安もありました。

その一歩を踏み出すことができたのは、①宇宙の分野とのつながりが少なからずできたこと。

②このプロジェクトメンバー十数名のうち3名が同じ愛知県出身で、その一人はKU-MA初代監事の佐橋さんであり、全国に先駆けて小牧市に「宇宙の学校」を開校された中心人物でもあります。もう一人は知立市「宇宙の学校」で事務局を一緒にやっている棚橋さんです。近くに相談できる諸先輩に恵まれていたこと。などです。

そして、「宇宙の学校」開校に向けた地元への働きかけは常にこの3名で行動し、心強い支えとなりました。開校に向けた活動は、「KU-MAの理念と活動」を地元の知立市で具体化するための「思い」を巡らせることからスタートしました。それを「構想書」にまとめ、市の「子ども向教育団体」や「ボランティア団体」「教育委員会」などへの説明を経て、的川先生と教育長との面談が実現し、知立市「宇宙の学校」の開校準備に入ることができました。

体制づくりにおいては、教育長と会場となる小学校の校長(「宇宙の学校」校長)先生が、市の教育関係者・組織などを取りまとめていただきました。前記の3名は設立準備事務局として、全体まとめと企業への呼びかけなどを行いました。

その結果、スタッフとして理科教育研究会の先生・PTA関係者・議員・企業技術者などの多分野のメンバーが集まり、まさに産学官連携が実現した体制となりました。

この連携により、「子どもたちの意識の理解×モノづくり技術」などの融合が生まれ、講師による手作り教材やスクーリングの進め方の工夫などの成果が現れています。

また、スタッフの熱意・努力により実現した「山のロッジでバーベキュー・宿泊を伴う天体観測」や閉校式での「1年間の反省会を兼ねたお楽しみ会」などは特徴ある活動とされています。更に、スタッフの自発的活動により、フェイスブック・ホームページ・スライドショーなどで活動情報の発信も活発に行っております。

構想を始めて1年半後の2012年11月にプレ開校し、本年度で3年目。子どもたちの元気な笑顔や感動溢れる姿を目にすることで、ボランティアで活動しているスタッフの活力が更に向上し、充実した運営につながると考えます。このような良循環が今後とも継続して回っていくように事務局として努力していきたいと思っております。



▲特別スクーリング(宿泊)

▲最後のスクーリング(閉校式)の日はみんなでお楽しみ会!

# KU-MA と わたしたち

★☆☆みなさまからお寄せいただいたメッセージ(抜粋)を紹介いたします★☆☆

×ルマガの「宇宙茫茫ヘッドライン」はとても重宝しております。「Hiraxコラム」も、もっと頻繁に更新されるようになるといいなと思います。」

「宇宙の現場で働く方の講演会など、大人向けの宇宙の学校もぜひ開催してほしい。宇宙の「ホンモノ」と出会うとき、好奇心や冒険心をそそられます。」

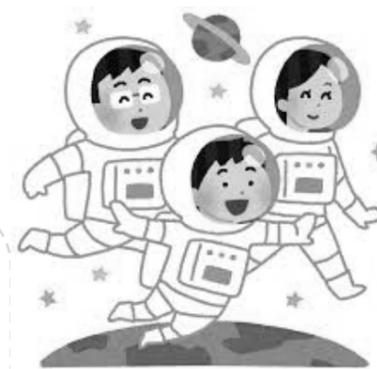
「KU-MA」の活動や現場の方たちのことが写真入りで紹介される「KU-MA ニュース」を読んで、KU-MAに親しみを感じるようになりました。(東京都 安藤)

私は子どもの頃から夜空を見るのが好きでした。原子力の道に進みましたが、宇宙への夢は捨てません。現在、青森県六ヶ所村に単身赴任していますが、そこで見たスーパームーンはとても大きく鮮明で感動しました。  
宇宙のイベントは本当にワクワクします。KU-MAには、子どもから大人まで一緒に宇宙や科学を楽しめるコーナーをたくさん開催して頂きたいと思います。期待しています。(青森県 石口)

KU-MAの素敵なところは、宇宙への憧れを行動にできる活動とずっと宇宙が好きでいる大人に出会ってもらえること!  
(東京都 小菅)

「全国に『宇宙の学校』が広まったところで、たまに『宇宙の学校-大人編』があってもいいかも?と思います。」

「会員の方々が情報交換できる掲示板のようなものがHP上にあるといいですね。」  
(東京都 菊地)



宇宙の学校が開校されない地域の子のために、講演会、工作指導の部分だけでいいから動画を公開して欲しい。事務局がこれ以上疲弊しませんように(短冊)  
中学校に上がる子どものお母さんから、来年から寂しくなるねと聞いた。体制を整える事ができれば、中学生以上の科学好きの受け皿も作って欲しい。  
他のウェブサイトだが、科学知識の疑問を投稿し、それに講師が答えるサイトがある。KU-MAさんでやっても面白いが、問題は費用だろうなあ。教材に使用している品のメーカーの広告で何かならないか?  
(神奈川県 小野瀬)

## 2015年初夢

- 子どもA: ぼくは兄さんと今年の春休みに無重力体験の宇宙旅行へ行くんだ!
- 子どもB: わたしは夏休みだけ家族で1週間宇宙ホテルへ行くの。
- 子どもC: いいなアー。でも、人が乗るロケットや宇宙船がみんな外国製だけど日本製はないの?

子どもD: お父さんに聞いたけど、30年ほど前の計画で日本は人が乗れるロケットや宇宙船の開発をやらなかったからだってさ。

こんな日本の子供たちの会話でドキッとして目を覚ました。将来この初夢が正夢にならないように、KU-MA活動にも子供たちが未来に宇宙の仕事が出来る基盤をつくることにつながるような内容もあっていいと思いますが、いかがでしょう。

(東京都 斎藤)



親も楽しい、子も楽しい。機関誌が届くたび、そんな風景を見ながら楽しんでます。協力できて嬉しいわ。  
親子で楽しんでるのがとっても素晴らしい。親子の関わりは重要だけど、一緒に楽しめる時間は短いから。  
いい活動は、もっとひろがってほしいなあ。  
大津市でもやってくれたらいいなあ。  
近くで開催されれば手伝いに行きたい。  
(滋賀県 小野瀬)

「学びは「真似る」」  
大人が愉しく活動すれば子供は愉しく活動する。  
シンプルなお教材こそ深い。  
自分が詳しくなるほど教え込まずに愉しさを与えられる。  
理系じゃないから不安というつつ、一番楽しんでた。  
それはKU-MAの素敵な仲間がいたから。  
(東京都 廣野)

## ■つなぐ KU-MA テーマ：企業と子どもと地域をつなぐ

12月17日(水)広島県三原市ゆめきやりあセンターにて、三原市立三原小学校5年生69人を対象に理科授業を開催しました。これは、当社のCSR活動として平成20年度より毎年開催しているもので、今回で7回目の開催となります。

授業では KU-MA 講師のご指導により、車輪を回転させるモーターや空気圧によるブレーキ装置の仕組みについて説明いただき、実際にコイルや磁石を組み立ててモーターを動かしたり、ペットボトルに水を入れ空気を圧縮して飛ばす実験を行いました。生徒たちからは、どちらの実験においても歓声があがり、とても楽しい体験となったようです。

また、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と当社が打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ2」についても KU-MA 講師より映像で紹介いただきました。

子どもたちに、ものづくりの楽しさを伝え、理科への興味・関心を深めてもらえるよう、今後も活動を継続していきたいと思います。(MHI 三原製作所 総務勤務課 総務チーム)



▲ MHI 三原製作所 理科授業 開催模様

### ■新刊案内

#### 惑星探査入門

はやぶさ2にいたる道そしてその先へ  
寺園淳也 著



いろいろ発行されている「はやぶさ2」本と異なり、この本は「はやぶさ2」に触れてはいるものの、惑星探査全体を解説したものですので、一過性のブームに乗らず、長持ちしますし、長い間読める本だと思えます。もっとも、惑星探査は話の流れが早く、第1章の第1行目が早速事実と異なったりしてしまっていますが…(著者談)

### ■KU-MA なる人々

#### KU-MA 事務局ボランティア

会員 赤松 秀樹さん

KU-MA 設立時から高校の先輩(的川名誉会長)のお誘いで会員になってきましたが、偶々参加した総会をきっかけに、1年ほど前から週一のボランティアをしています。

「宇宙の学校」の教材の部品作り、袋詰め、使用後の教材の点検や片付けと、単純作業ではありますが膨大な量の仕事があり、事務局の大変さを少しでも分担できればと思っています。

元々文科系の人間で、宇宙のことや教材で紹介されている物理・化学・生物等の知識には50年近くご無沙汰で、新鮮な驚きを感じる事が度々あります。先日は「ひまわり8号」の打ち上げの中継を、かつてロケットの打ち上げに直接関わった人たちの説明を聞きながら見る事ができ興奮しました。指を動かし新しい知識で刺激を受けるのはボケ防止にもなると思いつけているところです。



### ■KU-AM 事務局のある日



場所は、話題の某ブランド豚のお肉屋さんのレストラン。スペアリブや岩塩焼きなどをガッツリ食し、お肉をほおばりながら来年の抱負を語りあう瞬間もあったのかなかったか・・・

◇事務局では教材準備や事務作業などのお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。みなさまの参加をお待ちしております。お問合せは下記事務局「ボランティア」係まで

### ■会員募集中！！

◇正会員：KU-MA のミッションに賛同し、活動に参加する個人/法人・団体  
年会費 個人：10,000円、法人・団体：50,000円

◇賛助会員：KU-MA のミッションに賛同し、賛助する個人と法人・団体  
年会費 個人：1口 1,000円、  
法人・団体：1口 50,000円(それぞれ1口以上)

※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は5口以上からです。

### ■事務局よりお知らせ

ホームページや会報への掲載情報をお待ちしております。今号より掲載の「KU-MAとわたしたちの」への投稿も引き続き募集しています。KU-MA へのメッセージや情報、ご感想、ご意見、ご要望など、どしどしお寄せ下さい。

.....

いつもご協力ありがとうございます。  
みなさまからの会費や寄付金は「宇宙の学校」の教材作成や活動をサポートする運営費の一部となって、活動が支えられています。

### ■会費や寄付金のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】  
横浜銀行 刈野辺支店 普通預金 1768456  
特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会  
会長 平林久

KU-MA 活動へさらなるご支援をお願いいたします

認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 「宇宙の学校」事務局

〒252-5210神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内

電話・FAX：042-750-2690

E-mail：KU-MAs@ku-ma.or.jp

ホームページ：http://www.ku-ma.or.jp

「宇宙の学校」は、JAXA宇宙教育センターと当会の協働事業です

今あなたができる未来のこと  
子どもたちの未来を拓くキーパーソンはあなたです